

令和8年度 長野地区市政懇談会(7/30開催) 事前要望等回答一覧

No.	自治会名等	意見・要望等	所管課	回答
1	一桜親交会	【防犯カメラ設置に関して】 近頃、凶悪な強盗が多発しており、一桜地内でも夜間に窓を割り、侵入を試みる犯罪が発生した。近所の方が音に気づき、警察に通報し、警察が駆けつけた。幸い窓を割られ、事務所が荒らされただけの被害で済んだ。一步間違えれば人命に関わる事件になった可能性もある。これらの被害の抑制と犯人特定に、防犯カメラは有効と考える。現在、市では個人宅での防犯カメラ設置に対して補助しているが、防犯灯と同様に市としての防犯カメラ設置の計画があれば教えていただきたい。	地域活動推進課	市では、令和6年度から「街頭防犯カメラ」を計画的に設置しており、令和6年度は南河原交差点や桜町交差点など5カ所、令和7年度は利根大堰交差点や持田地内交差点など5カ所の合計10カ所に設置いたしました。 今年度につきましても、警察との協議を終えて20カ所に設置する予定でございます。設置に当たりましては、犯罪者の侵入や逃走経路となる市境、交通量が多く不審車両の通過が見込まれ、かつ交通事故の発生の可能性が高い主要な交差点、犯罪が多発した地域など過去の犯罪履歴を考慮し、行田警察署と協議を行った上で、設置場所を決定しております。 次年度以降につきましても、計画的に街頭防犯カメラの設置を進め、犯罪のない安全・安心なまちづくりを進めてまいります。

No.	自治会名等	意見・要望等	所管課	回答
2	一桜親交会	【新忍川沿いクビアカツヤカミキリの被害と対応について】 行田市全体でもそうであるが、一桜親交会の北側を流れる新忍川沿いの桜並木も、クビアカツヤカミキリの被害でほとんどが枯れてしまった。一部は伐採してもらったものの、立ち枯れとなっている樹木も多数残されている。景観が良くないだけでなく、いつ倒木するか非常に心配している。 市全体での被害であるため順番待ちだとは思いますが、新忍川沿いの桜並木の伐採、および再植樹などの計画が今後あるのかどうかを教えてください。	商工観光課	クビアカツヤカミキリによる桜の被害につきましては、市内の広範囲に及んでおり、市民の皆様にご心配をおかけしております。 新忍川沿いの桜につきましては、埼玉県管理となりますが、新忍川に接続している酒巻導水路沿いの桜は本市の管理となりますので、これを踏まえお答え申し上げます。 クビアカツヤカミキリの被害を受けた桜の伐採につきましては、倒木の危険性や被害状況を考慮し、優先度を設定した上で計画的に進めております。今年度の計画でございますが、既に、武蔵水路沿いの荒木地区内において66本の桜を伐採し、現在は、さきたま緑道沿いの桜の伐採を計画としているほか、酒巻導水路沿いや清水町地区内の被害樹木の伐採も検討しております。 令和9年度以降も現在の被害状況を踏まえながら伐採を進め、令和10年度までには被害樹木の伐採を完了する見込みでございます。 また、今後の植樹につきましては、昨年度は「よみがえれ行田の桜プロジェクト」として、県立総合教育センター東側の武蔵水路沿いに桜の植樹を行いました。引き続き、クビアカツヤカミキリの被害を防ぐ対策を行いながら、植樹につきましても、検討してまいります。

No.	自治会名等	意見・要望等	所管課	回答
3	富士見中央自治会	【斎場利用に関する現状（問題点）と提案（要望）】 火葬時刻の設定が9時半から13時半までであるが、実際に使われる時間帯は限られている。葬儀は火葬時刻の1時間半前には開式しなければならず、9時半に合わせるとなると8時開式になる。8時では会葬者も大変ではないだろうか。4基中3基しか稼働していないため、予約が取りづらく、火葬まで1週間以上かかった例もある。 また、葬祭業者からエンバーミングを勧められ葬儀費用がかさむという問題がある。 そこで、火葬時刻を午前は30分繰り下げ、午後は14時の枠を設けることを提案する。また、予備の火葬炉を無くしフル回転させることを要望する。	市民課	斎場の火葬時刻につきましては、午前9時30分、10時、10時30分、午後0時30分、1時、1時30分の6回で運用しており、火葬炉4基のうち1基を突発的な故障に対応できるよう「予備」としております。 火葬時刻の中でも、午前9時30分と10時の火葬枠については、葬儀を行わない方などが比較的多く利用されており、葬儀を行う方は10時30分以降のご利用が多い状況となっているほか、亡くなられてから火葬までは、最長でも4日間での受入れが可能となっております。 また、ご提案の火葬時刻の変更や増枠につきましては、斎場の運営を担う指定管理者とも情報を共有しながら、今後増加が見込まれる火葬需要をしっかりと見極めてまいります。その上で、市民の皆様の利便性、施設の適切な維持管理、運営コストのバランスを考慮し、何よりご遺族のお気持ちに寄り添った適正な運営に努めてまいります。

No.	自治会名等	意見・要望等	所管課	回答
4	富士見西部自治会	当自治会内にある児童交通公園は、ほとんどの土、日、休日に駐車場が満車になるほど、多くの子供のいる家族連れで賑わっている。信号機を設えたユニークな施設であり、このように有効に利用されている公園はそれほど多くないと思われる。ただ、残念な点が3点ある。 1点目は、昨年の懇話会でも取り上げたが、公園内に日陰になるような場所がないため、昨今の暑い夏は利用できないことである。以前あった藤棚の代替などを考えたいとの回答をいただいているが、現在の計画はどうなっているのか伺いたい。 2点目は、毎年夏場になると草の背丈が1m近くになることである。小さな子供が隠れてしまうほどの大きさで、親から見えなくなるほどである。現在までは長くなると年2回ほど刈り取りを行ってもらっているが、草が長いままの期間が長く問題である。刈り込みの回数を増やすなどの対策をお願いしたい。 3点目は、桜の木がクビアカツヤカミキリの被害で伐採され、イチョウは落葉の問題で小さく枝を切られており、公園全体に緑が少ない。木が多いと落葉問題などのマイナス面はあるが、木陰のない公園は憩いの場所とは思えない。緑や木陰を確保するための何か名案、今後の対応策を教えてください。	交通政策課	児童交通公園は、交通ルールを学ぶことのできる県内でも珍しい公園として、市内外から親子連れをはじめ多くの方にご利用いただいております。 園内交差点付近に設置されていた藤棚については、「行田市公園施設長寿命化計画」におきまして、修繕または改築等の緊急度が高い「D判定」との判定を受けたことから、昨年3月に急ぎ撤去し、その代替措置として管理棟横によしずを暫定的に設置するとともにエアコンを稼働した管理棟研修室を来園者に開放しております。こうした対策を講じつつ、今年度は、ものづくり大学と連携し、同所に新たに東屋を設置することとしており、年度内の完成を予定しております。 雑草につきましては、年2回除草作業を実施しておりますが、来園者の皆様に快適にご利用いただけるよう除草時期に配慮しながら取り組んでまいります。なお、今年度は7月13日から15日の3日間で除草を実施いたしました。 また、園内の樹木につきましては、今後検討させていただきますが、木陰対策としてまずは、東屋やよしずをご利用くださいますようお願いいたします。 市では、今後も皆さんに親しみ、楽しんでもらえる児童交通公園となるよう努めてまいります。

No.	自治会名等	意見・要望等	所管課	回答
5	三桜北部自治会	市民体育祭について、近隣他市などを参考にして内容を見直してほしい。市民体育祭の前哨戦として地区の体育祭があるが、ここ数年は人集めに苦労しており、棄権する自治会も出ている。昨年の自治連便り96号でも、自治連会長メッセージで同様のことが書かれていた。 現状の地区対抗方式では、強めのお願いや強制参加に近い依頼が起こりがちであり、無理な人集めは、ご近所や幅広い年代との交流という目的に対して逆効果になる懸念がある。 市民体育祭が変わらないと、地区体育祭も変わらないと考える。	スポーツ振興課	市民体育祭は、健康の保持増進はもとより、市民相互の連帯意識の高揚と地域コミュニティの活性化を図る取組の一つであると考えております。その一方で、少子高齢化の進展に伴い、地区によっては参加者の確保が難しくなってきていることも認識しております。 今年度の市民体育祭につきましては、本年1月28日に開催した地区スポーツ協会会長会議における協議結果を踏まえ、雨天中止となった昨年度の市民体育祭の競技種目や内容を基本にして開催する方針としております。また、競技種目、人数、終了時間の前倒しなど大幅に見直しを図り、地域の皆様が参加しやすい市民体育祭へと改善しながら開催しているところです。 今後も各地区の地域事情を踏まえるとともに、近隣自治体の状況を参考にしながら、引き続き、市民体育祭のあり方について検討してまいります。

No.	自治会名等	意見・要望等	所管課	回答
6	富士見北部自治会	世界でも先駆的にパソコンやタブレット端末を授業に導入してきたスウェーデンで、紙の教科書の復活をさせる取組が見られる。学力の低下及び幼い頃の脳は発達途上で刺激を受けやすく、電子機器の影響が不安視されるとの研究結果を基に政策を決めている。 このような海外の動向も踏まえ、本市のデジタル教科書についての取組及び見解について伺いたい。	教育指導課	スウェーデンなどの教育先進国では、デジタル教科書や端末の利用の一部見直し、紙の教科書への回帰に向けた動きがあることは、本市としても重要な事例として注視しております。 スウェーデンが紙の教科書に回帰した大きな要因は、幼少期から「ほぼ100%デジタル教科書」を使用した結果、子供たちの読解力や集中力に影響が生じたものと認識しております。 一方で、日本においては、「教科書を『デジタル化すること』が目的ではなく、教科書の内容を児童生徒にとって分かりやすくするため、これまで紙だけが認められていた教科書に、デジタルの特性が活きる学習にデジタルを取入れて作成することを可能にすることで、児童生徒の学びの質を高めていくことを目的とする」と、文部科学省通知に示されております。 本市といたしましては、子どもたちの健康への影響や学校の環境面を踏まえ、「紙＋デジタル」教科書のハイブリッド型の利用が効果的であると考えております。
7	富士見北部自治会	郷土博物館の西側駐車場において、「スズメバチ注意」の貼り紙が以前から見かけられるが、駆除の予定はあるのだろうか。	郷土博物館	スズメバチ注意の貼り紙につきましては、来館者の安全を守るために設置したものでございます。 設置の経緯を申し上げますと、近隣住民の方からスズメバチがいるとの情報が寄せられたため、速やかに郷土博物館周辺の確認を行いました。スズメバチを確認することができませんでした。しかし、スズメバチが周辺にいる可能性を考慮し、来館者への注意喚起を図るための貼り紙を掲示いたしました。 なお、貼り紙を掲示後、博物館職員及び警備員で毎日見回りを行いましたが、スズメバチが確認されなかったため、貼り紙を撤去いたしました。

No.	自治会名等	意見・要望等	所管課	回答
8	林区自治会	長野地区における下水道本管の改修工事について、現在の進捗状況及び今後の工事予定について説明をお願いしたい。	下水道課	長野一丁目及び三丁目地内の下水道本管の改修工事につきまして、現在、改修工事の設計が完了したところでございます。 今後は、10月からの工事着手を目指し、入札・契約を進める予定でございます。また、工事に要する期間を6カ月と見込んでおり、工事の完成は来年3月から4月頃を予定しておりますが、工事期間中、雨が降ることによって下水道管内の流量が増加することにより、改修工事が実施できず、完了が遅れる場合も想定されます。その場合には、来年の5月頃に完了となる場合もございますので、ご理解いただきたいと存じます。
9	行田はちまんマルシェ実行委員会	【小規模農家への支援に関する要望】 物価高騰により、肥料・農薬・種苗・資材の価格が大幅に上昇しているが、野菜の販売価格には十分に反映されていない。また、農業資材の購入時には消費税相当額の負担が生じているが、小規模農家からは、その負担を十分に販売価格へ転嫁できず、経営を圧迫しているとの指摘がある。もともと赤字経営の小規模農家も多く、このままでは離農する農家が増加することが懸念される。 近隣自治体では、農業収入に応じた支援金の支給(滑川町)や、資材高騰対策事業(青梅市、弥彦村)などの取組が行われている例があり、行田市においても小規模農家への支援を求める。	農政課	本市独自の農家への支援事業としましては、「行田市スマート農業等推進補助金」を創設しており、農業所得の増大に向けたスマート農業技術の導入や、農地の集積及び集約を目的とした畦畔の撤去など、新たな取組を行う市内の農業者に対しまして、その費用の一部を補助しております。 当該補助金は、小規模農家の方々も含め、規模拡大や経営改善を目指す幅広い農業者の皆様にご活用いただける制度で、物価高騰下における生産コスト増加への対応や、収益性の向上に資するものと考えております。 また、近年、カメムシによる被害が問題となっており、収量や品質に大きく影響し、水稻農家の皆様の経営を圧迫する要因となっております。市では、より多くの農家の皆様に安心して生産に取り組んでいただけるよう、水稻及び大豆に対してカメムシの防除を実施した全ての農業者に対し、その費用の一部を支援しております。これにより、直接的なコスト負担軽減につながるものと考えております。 今後も、食料の安定供給と地域経済を支える重要な産業である地域農業の維持及び発展に向けて、ほ場整備の実施、農地中間管理事業の活用、スマート農業の普及促進による効率化等について、引き続き、地域の皆様の意向を丁寧に伺いながら、各種農業施策を総合的に推進してまいります。

No.	自治会名等	意見・要望等	所管課	回答
10	行田はちまん マルシェ実行 委員会	【古代蓮の里の駐車料金に関する要望】 昨年もお願いしたが、蓮の開花期間は普段買い物に来ている地元のお客様の足が遠のいている。ある業者は、駐車料金の発生する期間は売り上げが10分の1になってしまうと言っていた。例えば、1000円以上買い物をしたら次回の無料駐車券を配布するなど、何かしらの対策を講じてほしい。	都市計画課	古代蓮の里の駐車料金につきましては、昨年度も同様のご意見をいただき、その後、1番東側の入口を売店利用者専用出入口とする方法や、売店利用者専用無料駐車券の発行について検討してまいりました。 しかし、開花期には2,000台を超える駐車があり、約3,000人の入館者が見込まれることから、駐車場の確保にも配慮する必要があります。また、安全面等の観点から、蓮の開花期及び田んぼアート最盛期において、売店利用者に限った無料駐車券の発行は現段階では困難であるとの結論に至りました。 また、古代蓮の里は、「公益財団法人行田市産業・文化・スポーツいきいき財団」が管理・運営しており、入館料や駐車料などの収入は、健全な施設運営を維持するための重要な財源となっております。このような事情をご理解賜りますようお願い申し上げます。 なお、この件につきましては、古代蓮の里における大きな課題の一つとして認識しており、改善の余地が見いだせないか、引き続き検討してまいります。

No.	自治会名等	意見・要望等	所管課	回答
11	行田市消防団	【消防団員の減少に伴う組織運営と体制見直しに関する提案】 昔は火災も多く、住民からの労いもあったが、最近では災害も少なくなり、消防団への労いや、一種の憧れのようなものもなくなってきた。災害が少なく、活動がないこと自体は非常に良いことであるが、「いざ」という時に備えるための準備や、肝心の団員を確保したいという思いがある。 中央警備隊ができたときのように、地域の分団数そのものを見直したり、分団同士で災害時の協力体制を地域ごとに共有したりすることも必要である。 市が消防団の活動を認識していたとしても、このまま団員が減少していけば、いずれ活動自体ができなくなってしまう。市と団員が一体となり、一緒に解決策やよりよい方法を探っていきたい。	消防総務課	消防団は、「地域防災の中核」でございます。施設の集約化や分団数の削減によって消防力の低下につながることはないよう、人口動態、地理的特性、初動対応時間の変化など、今後の状況を十分に見極めた上で組織の見直しを検討する必要があると認識しております。 団員数の減少につきましては、本市にのみならず全国的な課題となっております。本市におきましては、女性や学生、外国人など多様な層を受け入れる体制を検討しつつ、市報やホームページ、埼玉県消防団ポータルサイト等を活用し、消防団の活動を広くPRする取組を継続するなど、今後も消防団への加入促進に努めてまいります。